

管内(国、道)指定文化財 (関係分抜粋)

種別	名称	所在地	指定	所有者 (管理者)	指定年月日	摘要
重文	正行寺本堂	厚岸町梅香町1丁目19番地	国	正行寺住職 朝日 正芳	平4. 1. 21	道東初の国指定重要文化財となった正行寺は、要所に彫刻、内陣廻りに極彩色を施しており、北海道の近世寺院としては豪華で格調高い。明治時代に新潟県から移築された際に、北海道の気候・風土に合わせて改造を加えられていること、当時の関係資料が数多く残されていることから、北海道の開拓に伴う建築文化を知る上で大変貴重な存在です。
重文	蝦夷三官寺 国泰寺関係資料	厚岸町湾月町1丁目15番地	国	宗教法人 国泰寺	平17. 6. 9	蝦夷三官寺の一つである国泰寺には、「日鑑記」をはじめ、文書・記録類、經典類、器物類など、総点数832点にのぼる関係資料が所蔵されている。「日鑑記」は、60年間に渡り国泰寺の歴代住職によって書き継がれてきた記録で、当時の生活を知る上で大変貴重な資料です。
特天	タンチョウ	地域を定めず (主な生息地) 北海道	国	(北海道)	昭27. 3. 29	タンチョウは、「頭頂部が赤い」ことに由来した名称で、生息地の破壊・狩猟などにより一時絶滅が危ぶまれたものの、現在では地方自治体や自然保護団体等の地道な保護活動の成果で、その生息数は1,000羽以上にまで増えてきています。
特天	阿寒湖のマリモ	釧路市阿寒町	国	(釧路市阿寒町)	昭27. 3. 29	阿寒湖のマリモは、美しい球状体を作るため、その姿や希少性から特別天然記念物に指定されました。しかし、近年は各地で個体数が減少しており、絶滅危惧種となっています。
天	霧多布泥炭形成 植物群落	浜中町	国	(北海道)	大11. 10. 12	この地域は気候が寒冷で濃霧が多く、植物相が他の泥炭地と比べ類を見ない特殊な生育状況となっていて、貴重な泥炭地となっています。
天	春採湖の ヒブナ生息地	釧路市春採	国	(釧路市)	昭12. 12. 21	ヒブナはフナの突然変異とされ、大型で鮮やかな緑色をしています。春採湖はヒブナの他にも四季を通じて多くの動植物が見られる大変貴重な湖であり、また、湖畔周辺は市民の憩いの場、散策コースとして親しまれています。
天	大黒島 海鳥繁殖地	厚岸町字大黒島	国	(厚岸町)	昭26. 6. 9	大黒島はエトビリカやウミウ、ケイマリフなどの北方系の海鳥の大繁殖地であり、中でもシジロウミツバメの日本唯一の繁殖地であることから、国の天然記念物として指定されました。また、この島はゼニガタアザランの数少ない繁殖地の一つにもなっています。
天	和琴ミンミン ゼミ発生地	弟子屈町字和琴	国		昭26. 6. 9	ミンミンゼミは南方系の一種で、北海道の南部に発生しますが、和琴半島のミンミンゼミ発生地は分布北限とされており、学術上貴重なものです。成虫は7月～9月頃に発生し、サクラ、ケヤキ、アオギリなどの木によく止まると言われています。
天	釧路湿原	釧路町・鶴居村 標茶町	国		昭42. 7. 6	タンチョウをはじめ、多くの鳥類の繁殖地・休息地となっているほか、イトウ、キタサンショウウオなど希少な動物も多く生息し、貴重な自然の残る日本最大の湿原です。最近では保全へと目が向けられており、「釧路湿原自然再生プロジェクト」による自然再生事業が行われています。
重無 民	アイヌ古式舞踊	釧路町 弟子屈町 白糠町 釧路市阿寒町	国		昭59. 1. 21	アイヌ古式舞踊は、道内唯一の無形文化財であり、自然豊かな北の大地でアイヌ民族が育んできたアイヌ伝統文化です。特に信仰と芸能と生活が密接に結びついているところに特色があり、芸能史的に価値が高いものです。
史	モンリヤ砦跡	釧路市城山	国	(釧路市)	昭10. 12. 24	「モンリヤ」とは、アイヌ語で「島のある川」の意。アイヌの人々が築いた砦で、別名は「お供え山」と言われており、伝承では、1751年にトミカラアヤノというアイヌが築造したとされています。
史	春採台地 堅穴群	釧路市鶴ヶ岱	国	(釧路市)	昭10. 12. 24	春採湖周辺には、かつて200にもなる堅穴住居があったと言われており、特にその住居跡の集中している北側一帯が指定史跡となっています。この堅穴群は市街地に残されているものでは最も規模が大きく、住居形態や集落構造、立地条件などを知る上で重要な遺跡の一つです。
史	鶴ヶ岱チャランケ 砦跡	同上	国	(釧路市)	昭10. 12. 24	春採湖の北側に突出している半島で、かつては離島で、アイヌの人々は神聖な場所としていたと言われていました。「チャランケ」とは、話し合いの場という意味ですが、これは後に付けられたもので、本来の呼び名はわかっていません。
史	東釧路貝塚	釧路市貝塚	国	(釧路市)	昭45. 7. 22	道内の縄文前期の貝塚では最も規模が大きく、また、日本列島の東端にあり、各時代の生活様式・動物相・気候・縄文海進の様子など、様々な推移を知る上で貴重な貝塚となっています。
史	国泰寺跡	厚岸町湾月町	国		昭48. 10. 29	国泰寺は1804年(文化元年)に徳川幕府によって建立された蝦夷三官寺の一つで、北海道で最も古いお寺と言われています。現存している建物はほとんど改修されたものですが、境内は江戸時代のたたずまいを伝えており、蝦夷地における特異な歴史的役割を果たした重要なお寺となっています。
史	北斗遺跡	釧路市北斗 4番の1	国	(釧路市)	昭52. 7. 14	縄文各期にわたる豊富な遺構・遺物を擁する本遺跡は、釧路湿原を取り巻く丘陵上の遺跡群の中でも中核的な性格を持つものとして重要で、釧路湿原西縁で最も規模の大きい遺跡となっています。
天	厚岸床潭沼の ヒブナ生息地	厚岸町床潭	道	(厚岸町)	昭47. 4. 1	床潭沼では、沼水に含まれる酸素の比率が高く、赤系統の色素を含む植物プランクトンなどが豊富で、緑色を出現させるヒブナの生育には最適な沼となっています。ヒブナは通常のフナの突然変異によって出現したものと言われており、昭和40年から生息調査が行われていますが、フナに対するヒブナの出現率は1%弱と低いので、貴重な魚として保護されています。
有	太田屯田兵屋	厚岸町太田	道	(厚岸町)	昭49. 2. 28	北太平洋の警備と開拓を行うために、本州から入植してきた屯田兵が暮らす住宅として明治23年に建てられました。この兵屋の特徴は、向かい合う建物の構造が道路を挟んで対象になる「裏返し型」と言われる建て方で、道内でも数カ所にしか例のないものです。また、当時と同じ場所に残っている兵屋は珍しく、屯田兵の生活を知る上で貴重な建造物となっています。
有	円空作観音像 (1軀)	釧路市米町1丁目3番18号	道	厳島神社	昭52. 3. 11	江戸時代に円空によって作られた仏像で、台座背面に「クスリ乃タケゴンゲン」と銘が入っていることから、当時「クスリ」と呼ばれていた釧路を連想し、現豊浦町礼文華の噴火湾に面した洞窟から移されたと言われています。
史	厚岸神岩砦跡 および堅穴群	厚岸町大字別寒 辺牛字神岩30	道	(厚岸町)	昭41. 7. 7	遺跡は、チャン跡と堅穴群及び貝塚で構成されており、厚岸湖に南面しています。砦と堅穴の関連を示す好例で、湖と川を対称に今までに約763個の堅穴住居群が確認されています。

備考 重文→重要文化財 特天→特別天然記念物 天→天然記念物 重無民→重要無形民俗文化財  
史→史跡 有→有形文化財